

会 議 議 事 録 (抄)

会 議 名	専門学校東京テクニカルカレッジ 第二回 インテリア系教育課程編成委員会	
開 催 日 時	令和3年11月26日(金) 15時00分～17時00分	
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下1階テラホール、9階902教室	
参 加 者	外部委員：3名	内部委員・学内関係者：2名
	<外部委員：3名> (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照) 小山 誠之 (株式会社パワープレイス プレイステザインセンター教育・公共デザイン部 部長) 島田 祐輔 (apgm デザインアトリエ/法政大学大学院デザイン工学研究所 兼任講師) 鈴木 俊恵 (STeam/一般社団法人 日本インテリアコーディネーター協会 東京圏支部 支部長) <内部委員：2名> 高山寿一郎 (専門学校 東京テクニカルカレッジ インテリア科科長、議長) 村田 涼 (同 インテリア科、書記)	
会 議 録	<第一部 系別分科会> 15:00～15:30 地下1階テラホール 1. 校長挨拶 専門学校東京テクニカルカレッジ校長 白井雅哲 2. 委員のご紹介 3. 2021(令和3)年度事業計画進捗状況報告 ① 募集活動に関する報告 ② 教育・就職活動に関する報告 ③ 授業の問題発見・改善手法の開発に関する報告 ④ 学習成果の見える化に関する報告 ⑤ DX社会をわくわくさせる学校づくりに関する報告 ⑥ リアルジョブプロジェクトに関する報告 ⑦ 学生支援・リカレント教育等に関する報告 ⑧ その他、学習成果等に関する報告 <第二部 系別分科会>15:40～17:00 9階902教室 1. 議長挨拶(高山) 2. 前回(系別分科会)議事録の確認(村田) 3. 各系各科の取り組み等に関する「意見交換」 4. RJPに関する報告 5. 次回日程 6. 閉会の挨拶 3.) 各系各科の取り組み等に関する「意見交換」 昨年からコロナウィルスの影響によってショールームや企業での校外学習が出来ていない。来年もまだ続いていくであろうコロナ禍の中で、校外学習のあり方、学生の学びの満足度をどのように上げていけばよいでしょうか(高山) タイミングに拠るが、2, 30名は無理だが4, 5名ずつなどであれば対応が出来ると企業様側からのコメントがあるので回数を分けて実施したり、現実的にはハイブリッドで代表者数名とリモートの併用が受け答えなども可能なので良いかもしれない、タイミングが良ければスタジオアワーなどで少人数ごとにショールームに見に行ってもいいのではないのでしょうか(鈴木委員) 4, 5名で複数回授業を実施するのは難しいので20社ほどの企業から学生に事前に希望調査をし訪問する学生とリモートのハイブリッドというパターンが現実的(島田委員)	

出かけて行ってもものがある空間に身を置くというのはカタログやリモートで見るものと全然違う。リモートの商品説明などはたくさんの企業が配信などで行っているが少し一方的な感覚があります。

(鈴木委員)

カリキュラムのなかでは希望企業の選択制が良い、自主学習という形で授業時間外やスタジオアワーを使って、事前に協力企業に確認をしておいて(時期や人数・受け入れ可能か)学生自身にアポイントを取ってもらいショールーム訪問をするのが良いのでは、チームのスケジュール管理、アポ取りなど、社会勉強にもなる。クラス単位でショールームに行くのはしばらく難しいと思うので少人数で見に行くようなシステムに変えていければいいと思います。

(小山委員)

1, 2 回やれば慣れてくるし自分たちで連絡してアポイントを取るなど、そういった機会や経験は今後確実に役に立つ、そこで得たものを発表するまでの一連の流れが出来れば教育としてはよりいいんじゃないかなと。発表自体はフランクにゆとりのあるような形で授業とは違う形式がよい

(島田委員)

最初は全員がリモートで聞ける状態で企業さんから講義をいただき、それから一定の期間で自分たちで数名のグループでショールーム訪問などを行い、感じたことや学びの内容を簡単に発表するというのがいいのでは？

(鈴木委員)

4.) RJP に関する報告

インテリア科では 4 年前に 9F 廊下を学生の提案で改装をし、そこから学生寮の計画に繋がった一昨年と昨年、今年と連続して学生寮の改装計画を行っている。

配布資料を基に年間の RJP の流れの説明

(高山)

学生(入居者)に対してどのような見せ方をするのか？内見以前に写真の見せ方などで決まることが多いので入居者募集段階でどのようにアプローチをするのでしょうか

(鈴木委員)

今年はアニメーション制作を依頼されているので優勝チームのアニメを作成する予定です

(高山)

賃貸などの不動産でも VR ビューイングなどもあるので見せる方法(スマホでホームページを用意するなど)もあるのでアニメーションではなく球体画像を作って見せる方法もあります、まだ詳細は決まっています。

(村田)

初年度の女子学生寮の部屋は明るすぎてなかなか入居者が決まらなかった。

(高山)

特徴あるデザインのほうが自分でできそうな無難なものよりも自分でできないようなもののほうが魅力的になる、無難なものではなかなか決まりにくいかもしれません。

(鈴木委員)

(※白井校長から予算の話題を振られて) RJP の予算については予算に縛られてしまわないように、まずは予算を伝えずにイメージ、計画をしてもらってから、予算を伝えている。

(高山)

	学生からはもっと早く予算を知りたかったという声がちらちら上がっている、どのタイミングで伝えるのかを覚えておいたりしたほうがよいではないでしょうか CGを作り直さないといけなくなり、選びなおしているうちに寸法が合わない、場合によっては模型などもやり直しになってしまうパターンがあるので、3 期中ごろなど、CG や模型が始まる前の段階で伝えるのがいいですね。 (島田委員) 賃貸アパートなどでも関心のある大家さんなら 10 万円などの予算でモデルルームを一室提案することがある。十分計画できる予算なので、学生寮の場合の(床壁の材料費抜きで)20 万の予算は十分いろいろできそうだが、プランニングが固まってから予算が合わないとなると、配分が大変になってしまうので早めに予算はわかるほうがたしかにいいですね (鈴木委員) 学生寮は人の目にあまり届かないので、RJP で他にも考えていることがあって、IKEA などはデザイナーの計画した空間がモデルとして展示されているが、ああいった形でニトリや無印などで学生のデザインした空間を展示でコラボして作れないか、実際に無印良品などは服飾系ではあるがコラボしたものを展示している、メーカーの家具をコーディネートして展示させてもらう、といったことが宣伝にもなるしハードルは高そうだが出来たらやりたい。 (高山) インテリアの場合は空間が必要なので、場所の問題など、ハードルがある ヤマダ電機・島忠あたりなどもあるし、ありではある、RJP の実績もあるし、うまくいけば可能性はなくはない。大型店舗であればスペースの確保はできる。 (鈴木委員) ヤマダ電機なんかであれば家電もあるし、トータルで展示するスペースなど 2 月 3 月のシーズンであれば引越しシーズンに乗るのでタイミングは良い。 (島田委員) RJP から少しずれるが、学習成果のコンペの入選をしていて学校単位でいくつか名前が入ると知名度や実力を知ってもらう機会につながるので、建築インテリアやデザイン系などたくさんさんのコンペがある、自主的に挑戦する方や興味のある学生もいるので希望者を対象にスタジオアワーなどで以前やっていたコンペ講座をやってもいいかもしれない。 (島田委員) そのままコンペ実績に続き資格試験(インテリアコーディネーター・色彩検定・福祉住環境コーディネーター)の合格実績、受験状況の報告 (高山) 5.)次回日程と閉会の挨拶 3 月 8 日(火)の午後を予定していますが、作品発表も併せて行うのかなど、開催や詳細未定なので改めてご案内させていただきます。 (高山)
--	---

以上